

京阪三条、五時三十四分発の宇治行きに飛び乗った。各停宇治行きなので、眠りかけても、寝過ごしても、大阪まで行く危険はないと、安心して、眠ってしまう。

しかし、まあ、よく眠ること。

観月橋の駅に止まる寸前に、目が覚めて良かった。

そのまま宇治まで行くところだった。

観月橋の駅から、ずっと、気が沈み、下を見ながら、自分の足もとを見ながら歩く。今日もまた、何気なく、歩数を数えていた。

おとついの事、いつも通らない、たんぼ道を通って家に帰った事を、思い出していた。

少し、暗くて、さびしい、国道の下のもぐりトンネルを通る道だった。

変更ルートだけの歩数を数えたら、百五十だった。

当然、駅から家までの距離は、もっとある。

京阪宇治線、観月橋駅から家までは、一キロ弱かな。多分、数十メートルしか差はないだろうが、それでも、近道を探究しようと思った。

そのおとついの道と、今歩いている道とどちらが早く通れるかを、知りたくなった。

そこで、歩数を真剣に数えはじめた。

今日は、いつも歩く道だ、さあどう出るか。

ちよっと大げさかなあ